



高橋 綾
『ロボティア -HARUNA-』(立体)

群馬県立女子大生のアートが出現！ 広瀬川アート IV

—未来を彩る GUNMA のデザイン—

2025.3.8 SAT → 24 MON

広瀬川河畔 (久留万橋～諏訪橋) 群馬県前橋市千代田町5丁目



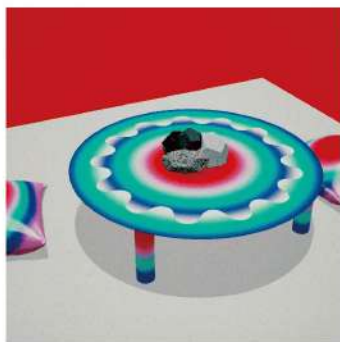
辻川 千晴
『かっぱ』(立体)



松井 玲奈
『前橋の風景が語る物語』(平面)



大内 若愛
『ぐんまのぐるりぐるめぐり』(半立体)



石川 夏向花
『Spontaneous Table』(立体)



須永 真緒
『ぐんまハッピーライフ♪』(web)



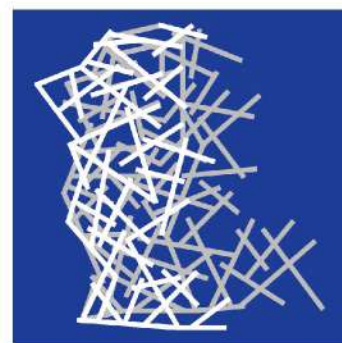
今井 あすか
『ぐんまの日常』(平面)



青柳 理砂
『walk』(動画)



戸部 海里
『HIROSEGAWA canvas』(立体 + 平面)



松田 怜奈
『からっ風』(立体)

広瀬川アートIV

[主催] 公益財団法人前橋市まちづくり公社 [後援] 前橋市、群馬県立女子大学 [協力] 株式会社織絵、有限会社山崎製作所

[出展者] 群馬県立女子大学デザインゼミ学生 (9名)・教員 (1名) [内容] 学生・教員の作品、スタンプラリー、太陽の鐘を鳴らそう!、バーチャルマップ

群馬県立女子大生の**アート**が**出現!**

広瀬川アートⅣ

—未来を彩る GUNMA のデザイン—

2025.3.8 SAT → 24 MON

広瀬川河畔(久留万橋~諏訪橋) 群馬県前橋市千代田町5丁目

前橋の中心市街地を流れる広瀬川。そのほとりに、いつもの風景が少し違って見えるアート作品が展示されます。

群馬県立女子大学 文学部 美学美術史学科で実技を学ぶデザインゼミの学生と教員が「GUNMA」をテーマに、屋外作品展示を実施します。

この展示では、未来を担う学生たちのフレッシュな感性が光る作品と、教員の遊び心あふれるデザインが融合します。会場には岡本太郎の「太陽の鐘」が佇み、その力強い存在感が若い世代の挑戦を見守るように場を引き締めます。

さらに、展示にあわせて「太陽の鐘」を打ち鳴らす特別イベントを開催。鐘の響きが空へと広がり、来場者とともに未来への願いを込めます。大型の幕で表現した作品群と春をイメージしたたくさんのぼり旗が会場を彩り、広瀬川沿いに賑やかで華やかな雰囲気を生み出します。

また、展示と連動してデジタルスタンプラリーも開催します。会場内の特定のポイントを巡ってスタンプを集めると、学生がデザインしたオリジナルエコバッグを景品としてプレゼントします。楽しく会場を回りながら、展示をより深くお楽しみいただけます。

広瀬川の流れるように、時代は常に変化し続けています。この展示を通じて、変化の中で私たちがどのように群馬をより良くしていくのか、そしてどのような未来を創造していくべきか、考えるきっかけを提供します。群馬が持つ豊かな可能性を感じていただきながら、未来への希望と創造の喜びを共に分かち合えたら幸いです。

群馬県立女子大学 教授 高橋綾



出展作品 12 箇所に設置されている二次元コードをモバイル端末で読み込んでスタンプを集めよう! 全てのスタンプを集めると学生デザインのエコバッグをゲットできます!



広瀬川アートⅣの開催を記念し、展示会場内にある岡本太郎作品、「太陽の鐘」の鐘打ちを開催! どなたでもご参加いただけます。未来への願いを込め「太陽の鐘」の響きを空へ届けませんか。



広瀬川アートⅣの作品群をどこからでも鑑賞することができるバーチャルマップを公開します。二次元コードで来場可能。本展覧会終了後もアーカイブとしてご覧いただけます。



交換期間 3月10日(月)~24日(月) (9:30~18:15)
※プレゼントは、なくなり次第終了
交換場所 前橋市まちづくり公社
※交換は平日のみ

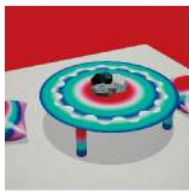
場所 広瀬川 太陽の鐘
日時 2025年3月16日(日)
13:00~14:00 (予定)
※天候により中止の場合あり



公開期間 3月9日(日)~12月31日(水)
協力 株式会社 織総



須永 真緒 『ぐんまハッピーライフ』(WEB)
この作品では、「群馬という土地で日々を過ごしてきた人は日常からどんなことを感じているのか」をWEBサイト上でビジュアルイメージとともにご覧いただけます。群馬の癒しや優しさに包まれながら生きてきた作者の想いから、群馬に関わる人々と私たちの日常をつなげ、「幸せ」や「祈り」を広めていくことを目指しています。作品を通して、皆様の日常を彩り、ハッピーに暮らしていく一助となりますよう祈っております。



石川 夏向花 『Spontaneous Table』(立体)
この作品は自然発生するテーブルである。人が集まることで自然発生的に生まれる場合は、この街中の日常として存在している。中央通りに駆け抜け誰かが居るし、夏の夜になれば馬場川通りに集い語らう大人を目にする。私たちの身体が存在するだけでも0から形のない空間を作ることができる。これらの特徴を浮き彫りにするような仕掛けとして、ちゃぶ台と座布団を用意した。鑑賞者に使ってもらって初めて完成する作品である。



戸部 海里 『HIROSEGAWA canvas』(立体+平面)
群馬県広瀬川の緑と川の流れるイメージした作品です。キャンバスに鏡を貼ることで広瀬川周辺の風景を映し出すようにしました。群馬県に馴染みのある人ない人も広瀬川周辺の街並みと溢れる自然の魅力を、作品を通して伝えたいという思いを込めています。青と緑を基調に自然との融合を表現しました。



大内 若愛 『ぐんまのぐるりぐるめぐり』(半立体)
群馬には、たくさんの名産食材や郷土料理に溢れ、個性豊かな食文化があります。そんな群馬のおいしい食べものが広瀬川に遊びに来ました。どうやら彼らはかくれんぼをしているみたいです。どこかに隠れた彼らを探して、小さな小さなグルメ巡りを体験してみませんか。群馬にどんな食文化があるのか、かくれんぼを通じて触れてみてください。



松田 伶奈 『からっ風』(立体)
群馬に来て、初めてからっ風を受けた時の衝撃は、今でも忘れられない。冷たく鋭い力を持ち、自然の力強さを感じさせる。この立体作品では、垂木を組み上げることで風の進行方向を表現し、風が人体に当たる瞬間に二手に分かれ、吹き抜ける様子を具現化した。風の動きが切り取られた空間として、風が持つ圧倒的な力と、自然の中で感じる不安定さを伝え、見る者にその力強さと優しさを感じさせることを目指している。



青柳 理砂 『walk』(動画)
町を歩いていると様々な音が聞こえたり、季節によって異なる景色を見ることが出来ます。初めて通る道はもちろん、毎日通る道にも新たな発見があるのではないかと考えました。今回はテーマに合わせ、前橋市を中心に群馬県内で音が特徴的だと思う場所を探し、撮影を行いました。そのため、ぜひ音にも注意しながら作品をご視聴ください。この作品をきっかけに普段通る道にも宝探しのような楽しさを感じていただけたら幸いです。



辻川 千晴 『河童』(立体)
広瀬川のシダレヤナギの涼しげで怪しい雰囲気や妖怪である河童で表現しました。また、河童はきれいな水質の川にしが生息しないとされています。農業や防火用水として地元を支えている広瀬川が未長くこの場所を流れていますようにという想いを作品に込めています。



松井 玲奈 『前橋の風景が語る物語』(平面)
本作は、前橋市にゆかりのある詩人、萩原朔太郎が確かに前橋で生き、感じた世界を、現代の前橋の街並みと交錯させることで、彼がこの地で過ごした痕跡を私たちに再認識させます。彼の言葉が、時間を超えて現代に響き渡る。過去の人が残した美しい文章が、今の私たちの心に新たな感動を呼び起こす。前橋という地が持つ歴史的な重みと、朔太郎が生きた証を感じさせる、時空を超えた交錯を描き出しました。



今井 あすか 『ぐんまの日常』(平面)
本作品は、群馬を生きていたら一度は経験したり、見たりしたことがあるであろう光景をテーマに制作しました。それぞれのイラストがどのような「ぐんまあるある」を表現しているか、考えてみてください。群馬に慣れ親しんでいる人も、あまり馴染みのない人も、一緒に群馬のよくなる光景を共有して、話題のひとつにでもして頂ければ幸いです。



高橋 綾 『ロボッティア 三山の神』(立体)
かつて群馬の三山には神が宿り、人々を見守っていた。しかし、時代が移り変わり自然と人との関係が薄れたとき、三山の神々は自らの姿を人の形へと変えた。白(HARUNA)、黒(MYOUGI)、銀(AKAGI)の三体はそれぞれの山の力を宿し、今、現代の地に降り立った。彼らの目を通して、私たちは自然との関係を再認識し、新たな時代へと歩みを進める。

[問い合わせ先・景品受取先] 公益財団法人 前橋市まちづくり公社 まちづくり推進課 (千代田町 2-8-12) 電話 027-289-5565 (平日 9:30-18:15)

